

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立五日市南小学校		
学校長氏名	岡崎 一孝	栄養教諭氏名	山本 由美子
職員数	57名	児童・生徒数	880名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・食に関する指導については、全学年で栄養教諭が授業へ参加できているが、学校全体で取り組むテーマを持って食育はできていない。
- ・給食の残食率については、昨年度よりも減少している。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・年間残食率を3%以下にする。
- ・全学級で行う食に関する指導の授業に栄養教諭が参加する。
- ・保護者向けの食育通信を配付する。

3 食育の目標に対する具体的な取組**【取組1】（テーマ） 教科等における食に関する指導の実践**

- ・全学年・全学級での教科及び学級活動での食育の授業を行った。
- ・学級活動で行った授業については、自分の目標を俳句（五・七・五で表す）にすることや、保護者へ授業の内容を知ってもらうために、ワークシートに一言感想を書いてもらった。授業や児童の様子を知ってもらえる機会にできたと思う。

【取組2】（テーマ） 給食の残食を減少させる取り組み

- ・給食の配食方法の工夫や給食を食べる時間を確保するなど、全職員に共通理解を深めた。
- ・6月の食育月間のマナーカードの取り組みの実施や、1月の学校給食週間の「きゅうしょくの木」の取り組みを児童委員会の「給食からっぽ週間」の取り組みと合わせて行うことで、残さず食べようという意欲につなげることができた。また、残食量を可視化することによって、関心を高めることができた。
- ・残食率は平均 2.6%（4月～2月まで）になった。

【取組3】(テーマ)

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・学校給食メニューとして「タコタコライス」を取り入れた。
- ・各学級に掲示資料を配付、給食放送での周知、実施当日に資料を配付した。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・給食時間の指導や食に関する指導によって、給食に関心をもつ児童が多くなった。
- ・給食の残食率の減少がみられた。

【課題】

- ・残食率は、学校全体としてのものなので、担任と協力して学級や個人の食事の様子を知ることが必要である。
- ・実施した食に関する指導の内容について、適切であるのかの検証をし、内容の精選すること。
- ・食に関する指導の年間計画をわかりやすく、より効果的なものにしていくための実態の把握をすること。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・残食率の更なる減少については、学校での取り組みに加えて、給食献立の検証を進め、よりよい献立の作成に努める。
- ・食に関する指導の年間計画の見直しをし、より効果的な指導ができるようにする。
- ・食に関する情報の発信を定期的に行う。